

第45回福岡矯正管区教誨師研修大分大会実施報告書（JKA 競輪補助事業）

記

1 実施年月日

令和5年11月9日（木）午後1時から同5時まで

2 実施場所

トキハ会館

〒870-8688 大分市府内町 2-1-4 電話 097-538-3125

3 大会テーマ

(1) 今を見つめて！

(2) 困難を乗り越え 深みのある宗教教誨をめざして

4 目的

宗教教誨は、被収容者の人生を見つめなおすために寄り添い、人間の本質を問いかける尊い存在です。

近年、私たちは多くの困難と向き合いながらも、今できることに焦点を当て教誨活動を行っているところ、被収容者が社会復帰後、再び過ちを犯すことがないように、教誨師としてできることを改めて確認し、方向性を定めるためにもこの研修大会を開催する。

5 参加人員

89名

（教誨師 75名、矯正施設職員 10名、その他関係者（講師含む） 4名）

6 研修内容

ア 式典（開会式） 13:00～13:50

イ 記念講演 14:00～15:40

講題 「豊の国」の多様性とこれから
講師 別府大学文学部史学・文化財学科教授 針谷 武志 氏

ウ 総会 16:00～16:40

会務報告・監査報告・監査報告・次期開催地決定

エ 閉会式

7 総括

新型コロナウイルス流行により社会状況が急変する中、私たちは多くの困難と向き合いながらも、今できることに焦点を当て教誨活動を行っている。

過去の歴史の中では、さまざまな困難に直面する中で、犯罪の少ない社会の形成に向けての施策が、時代ごとに採られて来た。アーカイブ学を専門とされる針谷教授により、戦国時代・江戸時代・明治時代の歴史を通して、特に江戸時代に小藩分立となった大分県を中心とする地域での戦乱防止への取り組みを明らかにしていただき、平和で豊かな社会構築へのさまざまなヒントを学ぶ時間を持つことができた。小藩分立の時代には、現在の大分県エリアに島原藩・肥後藩・延岡藩など九州内他地域の飛び地があったことなど、参加者のあまり知らない歴史的事実を示していただいた。過去の歴史を埋もれさせることなくアーカイブとして記録することにより、今後の困難に対応できるように我々が過去の歴史に学びながら教誨を考えるとという視点を持つ事により、被収容者が社会復帰後、再び過ちを犯すことがないよう、教誨師として何が出来るのかを考える時間を持つことができた。

8 その他参考事項

第45回福岡矯正管区教諭師研修大分大会記録写真（令和5年11月9日）

研修会場入口



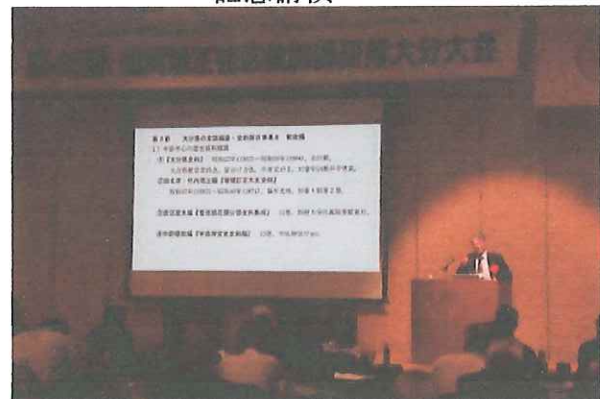
式典挨拶



研修会場風景



記念講演



総会風景



閉会式挨拶

